大正十三年十一月二十八日納本
大正十三年十二月一日發行（毎月一回一日發行）
第二卷第八號

# 婦人と労働

## 十二月號



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

# 婦人と勞働（十二月號目次）

# 婦人と勞働



十二月號

## 女性におくる詩

正午だ・——
神々はあぐらをかいてゐる
人間どもは道德を編んでゐる
貴女方はだれも郵便はがきだ
一錢五厘の切手が貼られる
貴女方はおとなしく滿足し服役する
生活が貴女方を奴隷にする
孕み、生み、育て、死ぬ
男らは機械のやうに働き、遊びほゝけ
倦怠と平凡な衝動とばかり
惰勢の太陽が黃ろい

（橋爪健）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

# 藝術と美と贅澤と

高群逸枝

一

藝術とは何。ブルジョアジーの解釋に從へば娯樂又は遊戲であつて、娯樂でない實生活とは「食ふ」とことに關する生活。

人云ふ。ブルジョア文化とプロレタリア文化とは、全然異る二つのものであらねばならぬと、もしさうであるならプロレタリアの解釋する藝術とは何。

二

私は云ひたい。プロレタリアの實生活は藝術であること。そしてその實生活を、實生活ならしめんが爲めの序幕的手段として「食ふ」とこの一般的解決を則さうとするのが、私共プロレタリアの革命であると。

三

現代人は、實生活を「食ふため」の競爭を以て終始し、打ち勝つた者のみが娯樂を貪り得るとしてゐる。そこには創造は無い。然り、特殊人の專門的創造はあらうとも、民衆の創造、創造を以て實生活とする民衆はあり得ない。

## 四

プロレタリアの時代となれば、民衆はその實生活を創造に關する生活とし、食ふための不安と時の濫費と惱みとを省かうとする。

## 五

創造には快樂が伴ふか。然り、物を食ふに快樂の伴ふと同じく。

生存本能に食慾と性慾との二本能ある如くに、創造本能には、科學慾と藝術慾との二本能がある。科學慾は、知識を求めてそれを食ふ本能で、藝術慾は性慾と等しく、情慾發散の本能である。

## 六

情慾發散の本能とは何。感情の發散の本能、悲喜哀樂發散の本能である。

## 七

現代では歌ふことさへ自由にならぬ。酒でも呑むか、氣狂ひにでもならぬ限り。また同じ歌ふにしても「かささぎ」のやうな聲を出さぬと、音樂に暗いものとして嗤はれる。

## 八

性慾は客觀的に見て、子供を生むといふ創造をし、其の創造に依つて社會を作る。藝術慾は客觀的に見て、藝術を生むといふ創造をし、其の創造に依つて社會を結びつける。

## 九



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

何となれば、お互ひの感情の表現は、お互ひの關係を明らかにするものだからである。

十

お互の感情は進化しつつある。例へばブルジョアジーは、感情的な行爲とか、感情的な議論とか云つて、感情を卑しめ、理性を貴ぶ。それは、彼の感情が進化して居らぬからで、その感情を露骨にすると、社會生活に差し支へるからである。

プロレタリアートは感情を貴ぶ。その赤裸々な感情、それこそ自然の衝動だからである。そしてその衝動は、それ自身人類的になつてゐる。

十一

ブルジョアジーの感情をもつ藝術家の藝術は、そのこと故にプロレタリアートには不滿である。しかし、多くの知識階級、若くは自らプロレタリア運動に從事してゐる多くの者ですら、その個人の感情が進化して居らぬ場合には、彼等には藝術を見る明はない。少くとも、現文壇をどうのかうの批判する資格はない。

十二

從つて、彼等の現文壇に對する批難は、批難の爲めの批難か、若くは文藝そのものに對する批難では無く、文壇人が職業的だとか何とかいふ、外面的な批難に止まらざるを得ぬ。

十三

少くともプロレタリア文化、若くはプロレタリアの時代を論じたいのであつたら、その

者は、先づ一個のプロレタリアート的エゴイストで無くてはならぬ。

エゴイスト、個人、その中心をなすものは感情である。しかして其の感情が、いかなる程度のものであるかを知るには、其の者の感ずる美感が何に、どんな種類のものに對して起るかを見よ。

## 十四

美感とは何。或る新鮮、或る特異に對する感動の狀態である。彼はいかなる特異をもつや。彼はいかなる新鮮を發見せしや。

## 十五

ここに或る美、或る贅澤がある。それは特殊階級のみが觸れ得るものであるが、しかも他の大多數の者といへども、觸れ得んことを望んでゐる。否、特殊なるが故に、その望みは寧ろ切である。また一方、觸れ得てゐる階級も、他の大多數が觸れ得ないものである故に飽かずにゐる。

飽かずにゐるといふことは、幻滅せずにゐるといふことである。そこで益々贅澤する。と、國家といふものがそれを禁止する。禁止するので、暫くもとに復り、感情はおさへつけられてゐる。暫らくすると、また膨脹し出す。贅澤する。また禁止を食ふ。

かういふ風であるから、いつまで經つても進化はしない。

## 十六

寧ろ贅澤を普及せしめよ。一般に贅澤せしめよ。思ひのままにそれをさせて見よ。贅澤の意義は「特殊」にある。その特殊が、一朝普通になつたなら、既うその意義も存在も零になる。民衆はまた新らしい美を發見するであらう。新らしい特殊を。

## 十七

プロレタリア文化の興起はそれからである。プロレタリア文化の發見する光明は、美感は、憧憬は、内容的に燃ゆるであらう。民衆は相愛しつつ、思ひを虚無に馳せ、死に馳せ宇宙に馳せるであらう。

ブルジョアは斯くの如き世界、斯くの如き生活をもたなかつた。故に、彼の生活は狹く利己的であつて、その感情は低級であつた。しかも、と私は附加する。しかも其の狹く、利己的であつて、低級である感情生活を、人間の本來のもの、人間とは斯くの如きものとして描寫し、「現狀肯定」に墮してゐるのが現在の文藝である。まだ新らしい藝術も、新らしい作家も出ない。しかし人間は、斯くの如き者ではない。それは私共自らの感情が知つてゐる。私共プロレタリアートの不滿は、多方面に緻密に生じてゐる、その反抗は、多方面に、緻密に不斷に續けられてゐる。

故に私共は、組織が革まらねば何も彼も不可だといふ、一種のあきらめの狀態に入ることは出來ぬ。文壇であらうが、教育界であらうが、一々私共は反撥する。此の反撥が、合同勢力となつて現代をひつくり返へし、次の時代を招致するに至る根本のものであることを、私共は知つてゐる。即ち私共は生きてゐるのである。私共が組織を作り變へるのである。組織が私共を作り變へるのではない。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN



# 時間制女中問題に就て

梅山一郎

國民新聞社が此の十月投稿を募つた『時間制女中問題』の答案の内容から、先づ第一に雇主側の反對理由の主なるものを掲げて見れば、同じ反對にも二色あつた。一つは、之を以つて日本の從來の家族的美風を破壞する惡制度であると、やゝ憤慨的に反對し、一つはその理想には贊成するが日本の現在の家庭では實行不可能なる爲反對だといふのであつた。主なる反對理由を羅列すれば、

▲家族制度から見れば、女中も家族の一員である。元來日本の家庭には時間がないのに、女中ばかり時間制にすると云ふ事は不可能である。

▲女中も人間であるから人格を認めることは言ふまでもないが、女中が娘や息子の如き自由を得やうとするのは間違ふてゐる。女中は矢張り女　である。

▲女中難の緩和策は、人格尊重が第一番である。務めの時間等は末の問題である。

▲日本の女中を時間制にして、アメリカの事務員の如くすることには極力反對する。

▲女中は主婦の補助員であるから、主婦に時間がなければ女中にも時間はない。強いて實行すれば家庭は非常に不便だ。

▲温情感化に優る女中難の緩和策は無い。

▲時間制にしても、能率を擧げ得るに足る優秀な女中が尠なく、日本の家庭生活が不規則であるから實行不可能である。

▲敬語を使ふことは反對。

▲家庭の仕事は突發的なれば、時間制は六ケしく、女中の勤務時間は長いやうだが、仕事の分量は尠ない。

▲主婦が一日暇なく一定量の仕事を負ふ如く、それと共に女中も一日を暮らさればならぬ。

▲時間制は女中を機械的にする。



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

▲家庭の仕事は細く長し。一定の時間に盛ることは出來ない。

▲女中だけ家族的に取扱はず、時間勤めさすは可哀相である。

以上の反對理由の要點を解剖して見るのに、日本の家庭を、全然昔のまゝの不規則不合理な生活を續けてゐるものと見做し、一家の主人を中心にすべての者は封建的に絶對服從をしなければならぬと云ふ、傳統的の解釋を栖にして、時代の進歩を少しも勘定に入れずに立てられた意見と見ればよい。然し流石自由平等、階級無差別の思想は一般に徹底したと見へて『人格を認める』と云ふ事と『家族的に我が子の如くに優遇する』と云ふ抽象的の優遇には、例外なく誰も贊成である。然し女中の時間制が、實は女中の人間として伸びる爲に、他の如何なる條件よりも大切であると云ふ氣持から出て來てゐる事に氣づかず、之に反對する所を見ると、人格的に待遇すると云ふつけたり文句も内容は怪しい。唯職業婦人的にしたくはない家族の一員の如くと云ふ願は、家族制度を保たうとする人達には僞のない叫び聲であらう。

この同じ反對は、單に雇主側許りにでなく、同じく家族的氣分に養はれた女中自身からも叫ばれた。即ちこんな人達には、女中をしてゐながら一度も『勤めの時間を一定し度い』等と云ふ事は考へられたことはないらしい。隨ふて、

▲女中は親しく使はれ、性質を理解して貰はればほんとに氣持よく働らけない。時間勤めになると冷やかになり、雇主が非常に不便を感ずる。

▲今迄よりも自由さへ得られゝば、時間等はどちらでもよい。

▲手不足の爲に雇ふて貰ふのであるから、時間の制限をしてはすまない。

▲家庭には規律がないから時間制は無理で、家族的に親しくしてくれゝばよい。

▲家庭では生活の補助者として雇ふのであるから、女中にだけ仕事の範圍を定めて時間を定める事は出來無い。

▲時間制だと機械的になる。

▲家族の不便を顧みず、自分だけ時間制になるのは心苦しい。

この反對理由の内容を思想的に見ると、こゝでは勞資等と云ふ六ケ敷い對立はなく、舊來の家族

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

的觀念そのまゝである。然し女中から得た答案の數百通の內、反對は十何通にすぎぬ所を見ても、雇はるゝ側から見れば、十中の九分九厘まで贊成の問題であつた事は言ふまでもない。

## 贊成側の理由

この問題に對する反對理由に對稱して、雇主側の贊成理由と、其の他の雇傭條件の改善案の主なるものを擧げれば、

▲女中も人間たる以上、主人同樣の休養を要する。
▲日本の家族は時間的でないから、この時間制女中を採用し、時間の觀念を養成して能率を擧げることはよい事である。
▲使用者は愛を專一にする。
▲女中を一家の躇躉にしない。
▲女中の時間制を實行するには、家族の生活を單純化せよ。
▲女中の時間制を實行する爲に、家族の各自は自らの事を自らせよ。
▲女中の時間制を實行する爲に、家庭の平和と規律を破る主人の生活を　造するが急務である。
▲女中の要　する者は、同情と時間である。
▲一日一時間又は一週六時間裁縫を敎へる。
▲夜間の業務には手當を出す。
▲女中に下の物を洗はせぬ。
▲一定時間後の事は主婦が自らやる。
▲女中部屋を與へる。
▲一日の仕事の範圍及量を定む。
▲入浴を每晚さらす。
▲女中の身を我が身にひき比べる。
▲苦學生でやれば、時間制女中は容易に行はるゝ。
▲主婦に時間の觀念あれば實行し得らる。
▲主婦の不規則さ共に引きずつてゆくのは不合理である。
▲家族の不便よりも女中に同情すれば實行せればならぬ問題だ。
▲食事も夜具も家族と區別しない。
▲女中の心理要求を親が子を知る如く理解す。
▲時間制は經濟にして便利なれば實行しつゝある。
▲女中の意義を一家の主婦及母としての準備、母が子供を成長させるまでの職業として解釋し、雇主と被使用人と最初出來るだけの希望を述べ合つて、新らしい雇傭法を家庭に相應しい程度に創始する。
▲呼名を始め、其の他言葉使ひを改める。
▲階級的差別の觀念をとる。
▲夜間自由にするは當然であらう。
▲餘計な働らきには賞與心づけをやる。
▲精神的に家族的の待遇をなす。

以上の贊成理由又は雇傭條件の改善案の精神を見るのに、前の反對論が家族制度の立場から出てゐるのに對して、之は個人主義及進步主義の立場に立つてゐる。女中の人格と自由を認める以上、



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

之を抽象的の優遇に留めず、具體的に時間、仕事の分量、教養、賃金等の實際的優遇を持ち出し、從來の家庭の缺點とする不規則な一日の生活、亂雜不合理な衣食住生活、更に家族制度の絶對勢力なる主人の生活の改造、だらしなき主婦の改良、主從關係による家の子女と女中の關係まで、一切壞す可きものは壞し、改む可きものは改めて、こゝに女中を一個の人間として、職業婦人として、或は主婦たる準備中の娘として、形の上に優遇しやうとしてゐるやうだ。

次に女中の贊成理由と、色々の雇傭條件の改善要求を列べて見ると、何の位時間制に反對する雇主の心持との距離があり、又贊成の雇主と何の位接近してゐるかゞ判る。そこから實際の實行案も出て來る譯である。之を以つて女中の眞の叫びと見てよからう。

▲時間制にすると時の觀念が養はれる。
▲女中を馬鹿扱ひにするな。
▲主婦の氣紛れな我儘をやめて下さい。
▲雇ふ方に時間の觀念がない。
▲家族的に待遇して下さい。
▲時間制にして、女中に將來の希望を抱かして下さい。
▲多少みだしなみをする時間を與へて下さい。
▲家族の誰にも氣兼のない自由な時間を下さい。
▲讀書をする爲に多少の自由時間を下さい。
▲暇の時には裁縫や手藝を敎へて下さい。
▲勞働者のやうでない時間制にして下さい。
▲個性を重んじて下さい。
▲夕飯後の暇は勉强と裁縫とに分けて下さい。
▲時間を定めた方が一生懸命働らきます。
▲女中も一個の人間です、人格を認めて下さい。
▲一日の仕事に對して自由と責任を併せて與へて下さい。
▲仕事を一定して下さい。
▲呼捨だけは御免を蒙ります。
▲時間よりも給料を上げて下さい。
▲朝夕の生活を規則正しくして下さい。
▲主人の理解が願ひ度い。
▲時々家族談話會に參加させて下さい。
▲學校にゆく爲に夕飯後の時を下さい。
▲充分寢かして下さい。
▲牛馬の如く使はないで下さい。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

▲まう少し親切にして下さい。
▲主人や小供の無理解な小言をやめて下さい。
▲寢る時間を一定して下さい。
▲病中あてつけがましいやうな事は言はないで下さい。
▲娯樂を與へて下さい。
▲一日の內多少の休養時間を下さい。
▲女性向上の爲人格を認めて下さい。
▲職業紹介所が女中にも雇主にも双方に自覺を起さして下さい。
▲社會事業として時間制女中の斡旋所を作つて下さい。

如何に女中達が、時代の進歩と共に各自曲りなりにも自覺して、自分を人間として出來るだけ伸し度いと云ふ氣持に滿ちてゐるかゞ判る。この要求こそ例外なく女中階級に波打つた思想で、既に雇主の都合のよい目先の親切や溫情では、女中難が解決出來ぬ迄に進んで來てゐる事が判る。されば抽象的な優遇でなく、眞に女中に同情する者は形の上に實際の優遇法を講じなければならぬ。そこで改善す可き雇傭條件は數々あるが、人格を認める等と云ふ事は當然の事として、其の他仕事の範圍、量、賃金等いろ〳〵あるが、その中で最も基本的の問題である休養時間乃至自由時間に就て、賛成者と女中がどの程度に案を立てゝゐるか、一度列べて見やう。

## 雇主側の實行案

そこで現在の日本の家庭に於て實行し得らるゝ時間制の女中は、どの程度の者かと、先づ雇主側の實行案の內容程度を拜見して見やう。

起床時間五時又は五時半が大部分（夏と冬を分けて、冬は五時夏は四時半と云ふものもあつた。）

▲晝間の休養時間
- 四時間（晝前二時間晝過二時間）
- 三時間（晝前一時間晝過一時間夜一時間）
- 二時間（晝前一時間晝過一時間）

▲勤務切り上げ時間
- 午後七時
- 午後七時乃至八時
- 午後八時
- 午後八時乃至十時
- 午後十時

▲公休日
- 月一回
- 日曜毎に午後休み
- 日曜休み

▲勤務時間
- 最長十七時間
- 次が十五時間
- 次が十四時間

（この內より休養時間の四時間三時間二時間を引けば十時までは十三時間十四時間、八時までは十一時間十二時間十三時間、七時までは十時間十一時間十二時間勞働となる。）

以上のいろ〳〵な區別より全體の傾向を見ると、

朝五時起床、晝前一時間晝過一時間休み
午後八時夕飯後自由　午後十時就寢で、

△勞働時間　十三時間
△休養時間　二時間
△自由時間　二時間
△睡眠時間　七時間

が最も理解ある雇主側の時間制女中の實行案である。勿論これは住込みの普通の家庭の例で、之が商家で大勢の番頭小僧を使用する所で、專門の炊事女中を雇ふとか、病院工場のやうな共同生活の臺所女中なら、何の故障もなく時間制女中は行はれる。實際市内でも實行してゐる所は多い。

## 女中の要求案

女中側の要求案は、

▲起床時間 ｛五時／五時半　（夏四時半、冬五時半）

▲休養時間 ｛晝前　三十分　晝過　三十分／同　一時間　同　一時間／同　一時間　同　二時間

▲勤務切上げ時間 ｛家族の迷惑にならぬ程度で切り上げて欲し／午後九時まで／午後八時まで／午後七時まで／午後六時まで／何時でも夕飯を限度にして

▲公　休 ｛月二回／月一回

以上の内で勤務時間の切上げ休憩時間等に就ての大體の傾向を見ると、

▲起　床　五　時
▲休　養　二時間
▲切り上げ夕飯（六時より八時）まで

これが女中側の要求案の平均標準であると見てよい。之を雇主側の實行案に比べて差のある所は起床は同樣であるが、女中側では、晝間の休養時間は少しでよいから、早く切り上げて、自由な時間が欲しいと云ふ所に、二時間許の巨離がある。公休日等は殆ど同樣だ。ソコで一番問題になる切り上げ時間を早め度いと云ふのは、女中達が纏めた四時間（午後六時より十時まで）の自由時間によつて、外出が出來る、夜學校にも行ける、娛樂にもゆけると云つた人間的自由が得らるゝからである。若し晝前二時間、晝過二時間、夜三時間と一日七時間の休養を與へると云つても、三つに切り離なれてゐる時間では喜ばない。大體晝過か夜間に、四時間前後の纏まつた自由時間が欲しいと云ふ女中の要求は、一般の傾向のやうである、ここまで進めば、無制限の昔の女中に對して、時間制女中と云ふ代名詞をかぶせてもよい。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

# 婦人職業相談

## 運命開拓に
## ―上京する地方の婦人に―

一體どこの婦人相談所でも、婦人職業紹介所でも、通信で就職を問ひ合はして來る地方の方々には「東京は皆樣の思ふ程よい所ではありませんから、上京は前なく思ひとゞまるやうに願ひます」と云ふのが定まり文句で、二度三度斷はつても、未だ熱心に出て來ると云ふ熱心のある方なら、兩親の承諾書を添えて來れば、御世話すると云ふのが常のやうだ。兎も角識者が、地方の娘の上京を墮落の一歩だと考へてゐる事は事實でかうした考を一般が抱くやうになつたのも、皆ぼんやりと夏虫が灯に飛び込むやうに、華やかな都に憧がれて來て墮落した娘達の例が頻繁にあつたからでした、然し近來では「私は活動俳優になり度いから」とか「丸ビルに勤める美顏術師に」又は「タイピストになる手續き……」等と云ふ都でもやゝ浮いたやうな外觀の美しさ一點張りの職業に惚れて出て來る以外は、眞に希望のない田舍を捨てゝ

---

# 生活を嘆く

木村てるよ

むめお樣、

度々書きかけては見ましたが、男々しくも戰つていらつしやる貴女を思ふと、何だか恥しくなつて、自分の弱さがまざ〳〵と見せつけられるやうな氣もして、またゝめらつてしまふのでした。けれども久しぶりで、あゝほんとうに一年ぶりで、私は今日めづらしく青白い月光を仰ぎました。洗濯物を片手に持ち、裏の物干しに立ちつくしつゝ、かぎりなき自然の運行のすさまじい姿に打たれましたとき、私は、今の社會の人々に並んで、私も生きねばならない五十年の生活をしみ〴〵さびしく思ひやりました。私は一切の仕事をそこにおつぽり出して、久々で机の前にすわると、狂人のやうにあなたにあてゝこのペンを取り上げたのでございます。

何からお話したらいゝでせう。私はまづ現在の生活の堪えられない不滿と不足とを少しもらさして頂きます。



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

我が身の生涯の運命を開拓に來る、熱心な地方の娘達も尠なくない。國にあつては貧しい生活を續けて、果しもない無希望の生涯から、獨立して見やうとする願を立てゝ出て來る裏には、なまじいならぬ覺悟があるらしい。是等の婦人に對しても、矢張何でもかんでも上京は悪いと、思ひとゞまらしむ可きか何うか、私はこの點に至ると良悪の判斷に苦しむ
ソコで私は、現在の東京の婦人職業の相場では、在京の婦人だけでも、事務員店員タイピストは雇ふ口が尠なく、希望者が多くて奪ひ合ひの形であること、事務員の初給二十五圓から三十圓では、間代六圓、食代十八圓、電車賃四圓五十錢、化粧料四五圓費すと、衣服は愚か茶菓子一つも食べられず、きたない風をして恥を搔かればならぬこと、親類のない都の暮らしは、寂しいまゝに誘惑に落入る事、一度都の風に染まると、田舎に引き込むのが嫌になる事を、先づ御注意申して、上京の第一の心調べが願ひ度い。

その次に、若しあなた方が空手空拳で金を貯めやうとか、何か職業を覺え込み度いと思ふなら、東京に出て來て業を求めるのでなく、田舎に

自分から希望して職業生活に入りましたのは十七の秋でした。その時すでにめぐみ二十の秋に實を結んだ三年の許婚の日をすごして、御承知のやうに私は木村と結婚いたしました。

その時、私は彼と云ふ一人の理想の戀人を永遠に失つて、地上にあるかぎり共に生きなければならない木村と云ふ無理解な、常識的な人物と約束させられてゐたのでした。思へばさびしい人生、人々は云ひました。戀は一種の熱病であると！　だから二人は目がくらんで何物をも見ることが出ないのだと！そしてその病が去つて目が開かれたとき、はじめて相手をしみ〴〵と見て、失望するのではないかと！

むめお樣

私は聲を大きくしてそれに反對いたします。戀愛の淨火の洗禮をうけて少くとも二年三年の交際に土臺をおいた人々に、何で熱病的な迷ひがありませう、いたづらや行きがゝりで、戀をもてあそんだ人はいざ知らず、奪ひ奪ふの爭ひに生命をかけて苦しんだ經驗のある人なら、戀人であつた時と、夫となつた時と、愛人であつた時と、妻と名のついた時と、その愛情に何の變りがあることでせう、そんならば結婚は何故そんなに夫を變化させ、妻をかはらせるでせうか、

ゐて朝夕田圃に出て働らいたと同様の骨折りを、厭はず働らく覺悟をして御覧なさい。さう云ふ勞働や勉强を厭はぬ婦人なら、寧ろ東京は地方の婦人を待つてゐる。

第一は女中だ。女中も小間使の、奥女中等と云ふ洒落れたものでなく、炊事小守を嫌はぬ女中、それと派出婦。第二は自動車の車掌、第三看護婦會、產婆會の看護婦、產婆、第四は髮結、第五和洋裁縫職工等は、悉く身體の丈夫な、辛棒强い地方の娘を待つてゐる故に此等の職業を探す娘さん達なら、東京へ來て路頭に迷ふやうな事はない。

次に苦學志望の婦人も尠なくないやうだが、先づ一番いゝのは、婦人相談所や婦人職業紹介所へ行つて、夜學校に通はせて貰へる家庭を周旋して貰ふがよい。その代り給料は、普通十二三圓の所を七圓位で我慢せなければならぬ。夜學校が近年市內の方々に發達してゐるから、昔と違ふて便利である。

夜の女學校をみつちりやつて、專檢に合格する人は尠なくない。地方で女學校を出られない人には、好都合である。又看護婦、產婆、髮結、和洋裁縫の內弟子に入つて免狀をと

---

むめおさま

私は、生活のためにと答へて、しみ〴〵と泣き入ります。

愛しい妻と自分の生活のために木村は終日しひたげの生活を、世に云ふサラリーマンとして生きてゆかねばなりませんでした。彼は朝起きるとすぐに彼の唯一の資本である洋服を氣にかけ、安物のそれを引立たせるためには、カラーからワイシャツまでの洗濯を取締らねばなりませんでした。それから顔を洗ひひげをあたるために、老人や弟妹のことも見られない位朝の忙しい私をわづらはせました。そして急がしい食事を沙をかむようにして、こればかりは丁寧にネクタイを結び、前夜みがゝせておいた靴をはいて出てゆきます。苦しい家計のために、私は洗濯や裁縫の他、多くの弟妹や七十を出た老父母の氣嫌とりのかたわら、僅の原稿を書かねばなりませんでした。夕方、かへつて來れば、まづい夜食をたべて、すぐ横になつたまゝうと〳〵としてものも云はず、私の仕事のわきにねむつてゐます。床をのべると、我をわすれてねむる様は、涙の出るほどいとしい姿でした。

むめお様

誤解しないで下さいまし、私は決して、且ての戀人同志のときのや



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

り、立派な腕を以つて故鄉へ錦を飾る者もあるが、それには少なくとも十七八歳から三四年の辛棒が大切である。この辛棒の出來さうもない意志薄弱な者は、假にも上京熱に狩られてはならぬ。それから身體の弱い人も、意志薄弱な者同樣、かやうな野心を抱くな。如何に多くの田舍出の娘が、始めの志は空しく都の華やかさに眩惑されて、紅燈の下に希望もなきカフエーやバーのウエトレスとして、墮落の一歩々々になちてゆく者が多い事だらう。

以上で、上京の可否や心得がお判りの事と思ふが、皆樣の職業の導きをなす主なる職業紹介所と宿泊所の所在地を參考に揭げて置きます。但し、宿泊所は無料ですが、何れも就職するまでの短期宿泊です。

▲婦人職業紹介所

△東京市水道橋
婦人職業紹介所
（本鄉元町松平伯邸跡）

△東京府中央
職業紹介所婦人部
（神田區萬世橋際）

△東京市中央

うに、この人にキスをしてもらひたいのではなく、星やすみれの讃詞を受けたいのでもありません。せめて、妻の笑聲に和する一言のやさしい言葉や、微笑がほしいのです。上役の目色をよんでは、しばられた苦しい仕事をつゞけて、一家を持するに足らない月給をもらつて來たところで、その他に一文の收入があるわけではなし、米代は上る一方、弟妹の學費さへ支つかへるほどの現在なのです。無理はない苦しからうと同情するかたわら、慰安もなしに負はされる苦しい責任と仕事のために、私までが吐息をつくやうになつて來ました。生活は苦しい、そう思へば思ふほど、何のためにこうしてゐるのかも判らない氣まづい二人の間を思つて、私の性質としては堪えきれないものがあるのです。且て、三年間の月日がそうであつたやうに、木村は私の現在に、細かい注意をしてゐてはくれるでせう。併しそれさへ、彼の生活のためにすてさせられるべく、止むを得ない狀態です。

生きることゝは、こうまで人間を機械化することなのでせうか。私は思つてゐました。自分の中に湧き上る感情についても思ひについても、おたがひに語り合ひ、又は本を讀むとか話しをするとか、せめて何か同じいものを樂しむとか、人の云ふ家庭とはそうしたものではな

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

職業紹介所婦人部
（神田區鎌倉河岸神田橋際）

△愛國婦人會
婦人職業紹介所
（九段下牛ヶ淵公園隣）

△愛國婦人會外手町
隣保館婦人職業紹介所
（本所區外手町）

△基督教女子青年會
職業相談部
（神田區北神保町）

△上野婦人相談所
（上野公園前）

▲婦人宿泊所

△青松寺內婦人會館
（芝區愛宕町青松寺內）

△淺草寺婦人會館
（淺草觀音堂裏）

△基督教女子青年會
婦人宿泊所
（小石川關口臺町獨逸協會裏）

△愛國婦人會外手町
隣保館婦人宿泊所
（本所區外手町）

△瓜生會婦人宿泊所
（小石川區大塚坂下町）

——梅　山——

---

いかと。けれども期待は見事にはづれました。感情に對しても思想に對しても、あのやうにデリケートであつた人は、別人のやうに無智になり、少くとも生命に對して希望のあつた人は、まるで生活のために追ひかけられて、にげてかくれてゐる姿です。

あまりにもその烈しい變化に對して私は聲を上げて泣きたくなります。あゝこの生活に何の生甲斐がありませうか。

むめお様

これでいゝのでございませうか。私は思ひます、貧しきものゝ世界には、えらい人の云ふ戀愛もなく、眞の結婚の幸福もないのではないかと！　私は黃色い口ばしで、高調して叫んで來た戀愛をも結婚をも恥しく口をつぐみました。私の先づ叫ばねばならないことは、生活らしい行き方ではないか！　人はつひに空論では生きてゆけるものではないのだ　と、私は今改めて人の世の不合理を嘆きます。生活と云ふ動かすべからざる實在をのぞくことなしに、決して眞の男女の結合はあり得ない現在の社會では、戀愛をとく前に、先づ、生活そのものゝ地平線を定めておく必要のあることを私は感じました。

むめお様

## 學校病にかかるな

どんな苦しい勞役に從事してもいゝから、某々の學校に入つて勉强する途を與へてほしい、と云つた風の苦學志願者が近頃非常に多い。然し一體そんなに苦しんでまでも、無理にも通はねばならぬ程、學校とは重要な階段であらうか。師範學校のやうな特殊學校は別であるが、女子大學でも、專門學校でも、高い學資を親からセビリ取つて卒業した人で、今、餘程澤山就職難でまごついてゐる。漠然となま半可な學校を出たところで、それがあなたのために何の足しにならう。學校に行かないよりは行つた方がいゝのは、解りきつてゐるが、一ヶ　に四十圓の五十圓のと纏つた學費を出し得る少數の人だけしか入られぬのが今の學校なのであるから、そんな學校の生徒になるのは、金子の使ひ場に困るやうな金持の親を持つたぼんやり娘に任せておいたらいゝではないか。

無理算段をして、心身共に過勞に陷つて迄も通はねばならぬほど、學校は私たちに身になるものを與へてはくれぬ。學校病に罹つてはいけない、頭を作り、智惠をみがく途は學校ではない。（む）

私は、この何の生甲斐もない現在の生活の中にして、昔の戀人に彼をかへさんがために、否、生活に追ひこされたるマラソンの路を生活より一歩先に立つて、意義ある生活とならしめやうために、私のすべてをさゝげて努力しやうと思つてゐます。思へば戀より結婚に進んだ幾千の人が、自分自ら生くる段になつて、泣き嘆き苦しんでゐることでせう。人の生れて叫ぶべきは、先づ生活そのものの建設であると、病弱な夫の、疲れはてた姿と、私自らのヒステリカルな現在とを考へて私はしみ〴〵と感じさせられるのであります。

むめお樣

なが〴〵と下らないことを書きました。貴女の前にはお恥しう存じますが、現在の社會に人として生くるに、生くるがために最も大切なことを考へずに、蝶よ花よの戀愛とやらに我をわすれて、つき進んで思ひごほり結婚してはじめて、しみ〴〵とその不合理を感じたのであります。魂の發露をさへさまたげらるゝ苦しい生活を私達は嘆きつゝ、花さ咲かせた三年の枯木を引きずつて、何とかして生甲斐ありたいともがいてゐるのを、御わらひ下さいまし。

# 女教員の組合に就て

## 大阪毎日の『評壇』

最近十一月丸日、大阪府下に女教員大會があつた、それを「大阪毎日」が評して居る言葉は、即ちH本に於ける男教員全體の謬見であり、それがまたブルジョアの女性觀であり、支配階級の意見であるとみて大差がないから差に紹介する。彼は女教員の差別撤廢の叫びに對して「……一般的にみて女教員の能力は、男教員の能力よりも低いことは事實だ。こゝで女子の差力の低いことは、一般にその理解の範圍が小さく、その度量と眼界とが狹いことを指すのである」斯く現下の女教員の實驗を知りながら、何故女教員を斯くの如き所まで案内したのか、その原因を窮め樣ともせずに、たゞ冷然たる筆者の態度に對して、女性全體が義憤しないなら萬事休矣。

## 何がさうさせたのか

考へてみるに、女性は決して先天的に、理解が小さくはなかつた。度量も眼界も狹くはなかつた。

幼年時代から生活して居る間に――恰度牛が鼻輪をつけられ、馬が轡をつけられたを同樣に、男性のために女性は全く、人間の靈魂の瞳を覆ひかくされてしまつたのだ。

だから差別をする社會制度――小學校制度を取りのぞけば、其所に必然、人間として、女性して、否女教員としての能力が十分に發揮されるのだ。要するに人間の全體としての文化が、より高踏な、榮光ある光りを此地上になげつけるといふことになる。

## そこに團結の必要がある

更に「……男子には男子女教員會と殊更に限定詞を附した會はないが、女教員會と名乘つたものを作り、自ら特殊を標榜してゐる。これは權利主張の一階段として必要のものかも知れぬが、自ら狹うして障壁を造つてゐる一徵證と見られぬでもない」

實に奇辯もこゝに到つては笑ふべき愚論だ。

然も現在の社會制度其ものが、組織的に女性を差別してゐるではないか。家に於ても、社會に於ても、また政治上法律上、經濟上あらゆる方面に於てさうだ。少なくとも日本では、女性は男性の私有財産の一部を構成して居る。

此同じ運命に――性慾奴隸として、家庭奴隸として、社會奴隸として、否人間奴隸として泣いて居る者同志が、手と手をしつかり握り合つて新らしい運動に出陣するのに、何んの不思議がある。「自ら狹うして障壁……」などゝどうしていへよう。今まで、男性こそ、女性をバラ〳〵に一人づゝの障壁をつくつたのではないか。

全國の女教員諸氏よ。重大な期に臨んでゐますぞ。

（安部隆）



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

時評

# 婦人參政權運動に就て

## 普選と婦人參政權

鈴木茂三郎

政府が來議會に提案しやうとする選擧權擴張法案は、普選とは稱するが實はゴマ化しである。先づ此の之からはつきりとしたい。

政府案には少なくも三つの缺陷がある第一は婦人參政を認めないことで、歐米の普選運動を見てもさうであるが、無產階級的勢力が、政治上社會上に根を張つた近代の普選は、性的無差別の上に立つたものである。第二は年齡を二十五歲にとめた事である。ほんとうの普選は、二十歲前後とされ、「普選と二十歲」は私どもにとつては常識である。第三は普選の精神とは、根本的に相容れない、候補者の保證金制度、高度の選擧費用制限、其他直接間接に多くの物質的制限を加えたことなどである。

かうした重大な缺陷だらけの政府案をどうして普選だなどと云はれようか。

近頃の進んだ政治學說の一致した見解によると、參政權を與へるの目安は、どの人たちが社會的協力、言ひ換えると社會、國家の爲めに、最も働ひてゐるかと云ふ一點にある。申すまでもなく社會、國家の爲めに意義のある最も多くの働きをする人たちと云へば、產業の直接の生產者であるから、先づ參政權を第一番に持つものは、腕と足の人、これら生產者でなくてはならぬ。

普選の根本精神はこゝに在る。それ故に生產者の多數を制する二十歲前後から、二十五歲迄の年齡を無視したり、性的差別をしたり、物質的の制限をしたりする參政權は、普選ではなく、それによつては眞實の政治は行はれない。然るに日本の婦人參政論者のなかには、差し當り三十歲以上で、がまんしやうと云ふ意見があるやうだが、若しも差し當りがまんするとなれば、二十歲或は十七八歲から三十歲迄でがまんしなければならないことになる。何故と云ふに三十歲以上と以下の婦人に分けて、どちらが社會の爲めに最も有意義な働きをしてゐるかを考へたなら分る。その一とつの實例は東京の電車のなかの女車掌募集のビラにさへ示された事だ。ビラには年齡十七歲より二十五歲迄とあつた。この二十五歲と限つたところは意味深長である。即ち年上になるほど婦人の働きは社會的協力から、お勝手元へと追ひ遣られつゝあるのが搖るがぬ社會的事實の反映である。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

普選と其れに含まれる婦人參政の意義が、右のやうなものであるだけに、眞正の普選は議會への歎願や、議會の訪問などによつては得られない。それは淺草の觀音さまへお百度を踏んだと同じである眞に普選と婦人參政を獲得するの道は、當然選擧權を持つべくして持た無かつたもの、無權者大衆の結束と協力によるの外はあるまいと思ふ。

## 專問の運動屋を排す

千葉龜雄

政友本黨でさへも、普選の性別に引懸つてゐる今日です。議會が近く開けて來るので、婦人參政の連中が實現の期を早めやうとして熱心に運動を初めたのは當然でせう。多少の批難はあるやうですが然し、今日の各政黨が、婦人の選擧權を許すかいなかに就いて多少でも知識をえたのも、實に彼の參政婦人達の熱心に注入した知識でないと誰が云はれませう。

たゞ、いつまでも專問の婦人參政の運動屋—職業的な少數の婦人だけの手に扱れてゐて、廣く一般の家庭婦人や女學生達の共通の問題となり興味を惹くまでにならないのは何故でせうか。社會的に相當の地位を占めてゐる智識階級の婦人たちも、參政婦人の連中に入つてゆくことは潔しとしない、と云つた風に高くとまつてゐる感がありますが、是非、婦人全體に共通の利害問題として、一手引受けの選手の手から一般婦人の關心事にまで押擴げてゆくべきだと思ひます。勿論かういふ運動は、ヒマのある婦人でなくては直接携はる事が出來ないものですが、今の參政運動をしてゐる人達は大部分獨身婦人或ひはその家庭生活が常態でない人たちのやうですが、是非健實な家庭に即した婦人の運動であつてほしい。同時に自分を、社會的にも思想的にも、學問的にも、相當に社會に認めさせてゐる人たちの運動になつてほしいと思ひます。

尙、職業婦人が參政權運動に參加するといふことは、勿論非常に必要な事だと思ひますが、然し、職業婦人の生活には、參政權よりは勤務條件に關するものとかその他、もつと切實な問題がありはしないですか。

職業生活上のいろ〳〵切實な問題は、參政權の實現を待つてゐたんぢや、迂路に入りすぎると思ひます。

## 第一步を踏締めて

新妻伊都子

女性も何故に政治に參與するの權利を得なければならないかと云ふことは、今更私が申さずとも、心ある大低の人は承知して居ることで、もう理屈を云ふ時代ではなく、もう一步進んだところへはいつてゆかなければならない時が、到來し

たように思はれます。

その一歩、それがなか〳〵むづかしいことで、此一歩の方針が誤ると、かなり大きな迷惑が生じて來ないとも限らないのです。それでなくてさへ女性は感情にはしりやすく、又個性に捆はれがちになるので、公人として社會に立たうとするものゝ、其點をお互ひによく顧みる必要があらうと思ひます。たとへば在來から行はれて來た此運動についてみても、其目的が男性と對抗することにあつたり、其仕事が何々會専屬のものゝ如く、又誰さん一人の運動であるかのように見えることです。先醒者として一段高い處へ登り、未だ眠れるものを從がへて行かうとする態度や、をこがましくも後輩を指導しようとする高慢な心掛けを、先づ私共女性の間から取り去り、お互ひに手を取り合つて、よりよき生活に向ふ準備をしなければならないのではありますまいか

それから又、女性が參政權を得ることについて、あまりに大きな期待をもちすぎて居はしないでせうか。參政權を得れば、人としての權利が與へられると同時に、滿足な生活が出來、女性のユトピアの世界が實現されると、理想を描いて居たら、大きな失望を感じなければなりますまい。

いつたい、女性が政治に參與することは、社會の一半をなす責任から、當然もたなければならない義務の負擔を感ずることから云ふのであつて、何も喧嘩腰になつて權利爭ひをしてまでも、又お諛ひをしてまで頂戴しなくとも、自分達に力があれば、責任をはたすことも、よりよき生活に向ふことも出來ようと思ひます。

## 既成政黨はあてにならぬ

山田やす子

婦人の參政權が、政友會とか憲政會とか、革新とか本黨とかいふ既成政黨の手で實現されやうとは考へられません。從つて現在の政黨を相手にして、婦人參政權の運動をするのは實にむなしい努力だと思ひます。一體、既成政黨の主義綱領なるものは、有るには有つても、それは無きに等しいものであります。いつでも自分たちの利害のためには、右にでも左にでも變へて平氣なのでありますから。

殊に私たち婦人として、今の政治家の多くが持つ婦人觀がどんなものであるかは、彼等の日常生活をみてもよく解ると思ひます。まづ、彼等の婦人に對する見方、考へ方から變へてかゝらなくては駄目でせう。萬一、どの政黨かが、婦人參政權のために奮鬪しやうと云つてくれても、それはきつと、多大の條件つきであるに違ひありません。彼等は誠意、そのためにつくすのでは決してなくて、外の政黨よりも新しがらうとか、民衆の人氣に投じやうとか、何らかの手段として婦

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

人参政權の名を利用するだけなのですから、時と場合に依つては、いつでも豹變するものです。私たちは、そんなものを相手にしてはゐられません。

それに反して、無産政黨が樹立されたときには、今までの多くの問題は一大飛躍をなして、無條件に、問題なしに、男女は全く平等の地位に立つと思ひます。ですから、もし餘力があるならば、既成政黨に援助を乞ふよりは、これから出來やうとする無産政黨の成立を援ける方がいゝと考へます。今既成の政黨と妥協してその力に頼る方が早く、婦人の參政權が實現されさうにも考へられるかも知れませんが、結局は、無産政黨を援助した方が究極の目的を達する上での早道であります。

## 婦人の力の延長

山田わか

今日の此社會を、一本の樹にたとへて申しますならば、女性の力は、其の樹の根の範圍内に限られてあつて、其樹の根又は幹を害する障害物が其の樹の枝に引つかゝつて居ても、婦人は其處迄手を伸すことが出來ない、と云ふのが今日の社會の實狀です。

今日迄の婦人論は男性模倣に出立して外界の事柄にばかり心を奪はれて、つまり、樹の枝や花にばかり心を傾けて、其の樹を存在せしめて居る處の根を忘れて居ますので、私は過去十年餘りの間、世間の所謂女權擴張と云ふものに反對して來ましたが、實に、本當の意味の婦人論乃至婦人運動は、樹の枝や花にばかり氣を取られて樹の根を等閑にして全體としての樹の衰弱を來たすようなことをしてはならないのです。つまり、全體としての社會を衰弱させ、貧弱にするような事をしてはならないのです。

婦人參政權に致しましても、自分が女性であると云ふことを忘れ、家庭をないがしろにし子供をほうり出して置いて政治に熱中するような事をしてはならないと同時に、私共婦人が社會と云ふ樹の根をどんなに大切に保護し育んでも、私共婦人の手の屆かない樹の上で男子ばかりの政治に無茶なこと、亂暴な事をされてはならない。婦人參政權の問題は此處から出立しなければなりません。


### 勞働講座第三科目

題目　勞働組合及勞働組合運動史
講師　三輪壽壯
期間　十一月二十五日より十二月十六日まで（毎週火曜日）
時間　午後六時より九時まで（講義―二時間 質問討議一時間）
會費　一科目 金壹圓　一回 金三十錢
場所　牛込區原町成城小學校

東京市外大久保百人町
東京聯合婦人會勞働部

# 政治に參加する婦人の實力は

長谷川如是閑

政治が、だん／＼と、民衆の方に、移つて行つたといふのは、つまり、民衆の仕事が社會的に有力だといふことから、軍人や宗教家に代つて民衆が、社會上の實力を得た結果である。婦人が參政權を得るのも、男子が立憲政治を得たと同様で彼等の仕事が、社會的に有力なものである事の結果である。

婦人が、政治上の權力を得なければならぬといふ事は、暴力や迷信からでなく婦人が社會上の仕事の上で男子と同様の立場を持つ事になつたので、つまり社會的の實力を得た結果である。この實力がなければ、婦人は政治的權力者になることは出來ない。

今迄の家族制度の下に於ける家庭婦人が政治上の權力者とならなかつたのは、彼女らの生活が、全然男子の保護の下にあつて、社會上に實力といふものがなかつたからである、言はば、奴隷に實力がなかつたので政治上の權力がなかつたのと異らない。

然るに近代に於いては、奴隷が勞働者として、社會的に力を持つ事になつたのである。彼等が結束して動けば、社會も動かされねばならぬ。そこで奴隷階級も參政權を要求するのである。

家庭の婦人も、男子の經濟上の保護に頼らねばならぬ間は、殆ど社會的に力がない。

寧ろ家庭といふものは重大な組織であつて、婦人は、その組織の中で重大な任務を帶びてゐるので、決して社會的に無力であるのではないが、政治上の權力は、然ういふ狀態の下にあつても、その婦人の生活が男子の生活に保護され、それに從屬するものである限りは、男子を支配する力として働き出すことは出來ぬ。

民衆は暴力は持つて居ないので、民衆の暴力で政權を得る事は絕對に出來ぬ、即ち經濟組織の中で、有力な働きをするといふ所から、民衆の力は生れる。

婦人もその通りで、經濟組織の中で有力な地位を得ると、自ら權力が生れる。政治といふものは、權力の組織である。婦人が經濟組織の中で權力を得ない限り決して、政治上有力にはなり得ぬ。

そこで、今後政治上で有力になり得る婦人は、職業婦人、勞働婦人でなければならぬ道理である。

家庭婦人は、如何に社會的に有力な役目を果してゐるにしても、兎に角生活の本據が、他人に依賴してゐるので、他人を支配する權力は得られぬ。

目下の所、男子ですら、生活の本據が、他人に依賴してゐるといふ男子は、概して政治上の權力を與へられて居ない。未成年者が全然政權を與へられないのも、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

凡てが他人に依頼する時代だからである。

女子も、社會的に有力な仕事を務めてゐるものだけが有力に政權を得る事が出來、又活用する事が出來るのである。それには一つの力となる爲に、團結して政治的に働くことの出來る地位にあるものでなければならぬ。男子でも女子でも、それは勞働者即ち生産階級の人々である。

知識階級の人々も、亦勞働者と同じ地位にあるものだけが政治上有力に働くことの出來る人々である。

然し今日政權を得てゐるものは、決して社會的に有力な仕事をしてゐるものではない。地主であるとか、資本家であるとかいふ人々である。であるから婦人でも、地主とか資本家とかいふ地位を持つて居る婦人は、政權を與へられなければならぬ。今日でも事實上、それ等の婦人は、政治上に權力を持つて居るやうなものである。だから要するに、職業婦人と、地主や資本家等の婦人が、先づ今日の所で、實際的に政權を握る資格のあるものでなければならぬ。

婦人が、唯人間としての權力といふ樣な所から政權を要求しても、それは唯、男子がおなさけに、女子に政權を分けて呉れるのを望んで居る樣なものである。そんな風にして政權を得ても、何ら實際上の權力にはならぬ。男子が與へまいとしても之を奪ひ取る、社會的の力をもつ婦人だけが、政治上に參加する甲斐のある婦人である。

## 待合政治と婦參

奥むめお

今年も政治期に入つて、又婦人參政權運動に就いての集りや相談會が方々にあるやうであるが、一つとしてそれ等の集りの中で、普選を機縁として現在無産階級の中に醗酵しつゝある無産政黨に注目してゐるグルウプのないのは淋しい事であります。

幾度云つても同じ事であるが、利權の獲得をその根底として成立つてゐる今の政黨に依つて、眞に婦人の爲め、子供の爲め、而して社會の爲めの、婦人參政權が與へられやうとは思はれません。よし萬一與へられたとしても、それは大衆の勢に引ずられた申わけであり、結局は彼等の利權の餌にすぎないでせう。

待合で國家の大方針が決せられるやうな國で、婦人參政權が與へられたとしてもそれは猿芝居でなければ、女衒の女性尊重です。

そこで婦人參政權運動に於て、吾々婦人が依るべきたゞ一つの政治的勢力は、現在の政治的勢力に反抗して生れやうとする、新興階級の政治的權力、即無産政黨を外にしてありません。だが、それにした處が、吾等婦人が寄生者としての運命をそのまゝ背負んで行つて、この無産政黨によつて救はれやうなどゝ思つてはなりません。有史以來の婦人の運命を救ふために、婦人自ら立つ事を外にしては。



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

# 搾取より文明へ

## ――歐洲に使して――

石原清

　誰しも周知の事實ではあるけれども、歐州はまつたく他人事に騷がない。第五回の國際勞働會議がスヰスジエネーヴに於て開催された昨年十月、會議に參加する私達一行十五六人がフランスの港、マルセイユに上陸した時、土地の新聞紙上にわずかに數行報導された記事をみた。

　ジユネーヴは、僅かに人口十四萬ばかりの、スヰスの角の方にある。丁度日本で云ふなら福岡市見當と云ひたい程の小都會である。會議に列するさま〴〵な人間が、四十二ヶ國から寄り合つた。けれどもこの町には、何のさゞめきも格段おこらなかつた。

　會議で、私はさま〴〵な女の人に會つた。これは先づ職業婦人である。たいてい婦人工場監督官であつた。この人達について見出したことは、これはあまり常套的な言葉だが「職務に熱心である」ことであつた。それから、彼女達の會合の席の話を聞いて、少々自分の期待の大き過ぎた馬鹿らしさを感じた事である。何故となら、彼女等の話の内容は、井戸端會議とさまで遠いものでなかつたからである。但し社交にたけた彼女等であるから、それが決して下卑ては見えなかつたし、殊に圓滑な感じまでするのではあつたが。

　社會事業にたづさわるるとか、勞働問題に從事するとか云ふ人間を、何かこう特殊の人間でもあるかの樣に扱ふ、否私自身が、知らず〴〵のうちに扱つてゐたことを馬鹿〳〵しく思つ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

たのである。彼女達、それは各國の代表者ではあるといふものゝ、やつぱり普通人であつて、何う特殊の人でもない。あたり前の人間である。それにしても、實に懸命な仕事ぶりであつた。一人で、代表も顧問も秘書役もする。用事がすめば手かばん一つさげて、さつさと引きあげる。それがわずかに、一年か二年工場に居て「經驗ある」と言はれる私達とは違つて、數十年間この方面の仕事にたづさわつてゐるといふ人々である。「熱心なものだなあ」私は人事に感心した。私の會つた數人の婦人の中で、特に二人のおばあさんは、若い時からずつとこれにたづさわつてゐた。そして常にたゆみなく、一筋に今歩んでゐる道を歩みつゞけて來たといつてゐた。

會議が濟んで私達は旅をつゞけた。スヰスの首都であるベルンからイタリーに這入つて、フランス、イギリスと歩いて見た。

詩に小説にかゝれるイタリーも、吾々と同じ人間の住む國とは思ひつゝ、湖上の佳人を思ひ浮べては、また私共の頭には美しい名が浮ぶ。然しこゝは、誠に過去の夢語をあこがれてゐる人々の國の樣であつた。產業らしい產業も見られず、浮浪人の樣な人々の群を到る所にみた。私は何とも知れない詫びしい心持になつた。次で華の都のフランスのパリーに行つた。こゝは實に金を澤山もつて遊ぶにはよい所である。實に心持ちのよい所であつた。然し私はやはりそこに數多くの生活難にせまられた人々を見ねばならなかつた。一等目につきやすいのは、到るところのバー、カッフエ、踊り場等に居る數多の賣笑婦の群である。其他場末の町へ行くならば、必ず生活難におしつけられた人々を見ることが出來る。

寄席に於ける「素裸體踊」にしても、好んで自分の裸身體を



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

衆人の前にさらす婦人があるだらうか、これなどはあまりに悲慘な現實として私は見て來た。

ロンドン「イーストエンド」のあることは誰も知つてゐるが、私が着いた時も、鐵道從業員のストライキがあつて、何となく騷々しかつた。

私はある夕オペラに行つた。そこではとても日本などで、私達階級が思ひも及ばぬ程の豪奢振りをみたことであつた。まばゆい寶石を、おしげもなくその身にまきちらしたとも云ひ度い程の使ひ方、贅を盡した美くしい着物、そこは、生活難の風やストライキの雷もなかつた。たゞもう生活の美酒に醉ふ人々の群を、私は見たのであつた然しもうこゝへ來た時は、私は決して「素晴しいものだなあ」とばかり、彼等の豪奢ぶりに感心してゐられなかつた。歐州！それは美しく完成されたよき國のみとは考へてはゐられなかつた。根底に流れてゐる或物を私は漸次考へさせられて來つゝあつた。人事に「熱心なものだなあ」とやたら感心した自分を、又萬事歐州のことに感心したがる私共の國を、豫猶があるのだと見ぬわけにゆかなくなつた。「他人事に騷がぬ」とか、「自分の職務に熱心である」とかそれは一面、敎育とか習慣とかにもよることだらうけれど、又生活といふものにひし〳〵と迫られた彼の國では、到底人の生活をやいたり、人事で大騷ぎをしたりすることは出來ぬのではあるまいか。うつかりそんな事をしてゐたら自分達の口がひ上つて終ふ。當然又、自分の職務も懸命にやらざるを得ない樣なところにまで押しつけられて來て居るのではあるまいか。「日本の婦人は、途中までやつて駄目になる」と、よく私は且つてのこと諸大家から聞かされた。女性の仕事に長續きせぬ半面の理由として、まだ生活といふものに豫

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

猶の存するのを私達は見逃すわけにゆかぬ。

生活といふものがぐん〳〵私達を押してくる力、實にそれは大きい、私達は、目先の安樂さのみを考へて生活してゐることは出來ない、單なる功名心に憧がれて、新聞紙上に名を揭げらるゝ事ばかり考へてゐられないうか〳〵してゐる間に、生活といふ恐ろしい大きな力が吾々を壓して終ふ。

お互ひに仲よく手をとり合つて行こふといふ男女ですら、職業上の場合ではうまくゆかぬ事がある。即生活の壓迫から來るところの爭ひである。得手勝手な男性達の爲めに罪なくして排斥せられた女性を、私は幾人か見て來た。

生活といふものに、何故吾々男性も女性もこうして壓迫せられるのか。「働く爲めに喰ふ」と女學校で約九年程敎つたのに、今は「喰ふ爲めに働く」ことに切實に迫られて來た。私達は何故を以て、生活にかくも迫らるゝか、鋭い冷靜な所の觀察批判を下さなければならない。

吾々の國が、どの方面に於ても結局、人まねでないとは誰が云ひ得やう。支那文明を輸入することに吸々とした吾が國、そして遂にその眞隨を獲得し得なかつた吾が國は、今や、歐州諸外國の文物輸入を盛んにしつゝある。爲めに、わざ〳〵人を派して研究する。それも結構な事には違ひないけれど、徒らに皮相のみを傳へられては困るのである。決して文化の花が、一朝一夕に咲くものではないのであるし、又その花を單に美しいと見るのは誤りである。殊に彼等の國は吾々の國とは、習慣なるものが著しく異つて居り、その組織、政治にしても、又今頃よほど衰ろへてはゐるが、彼等の宗敎心にしても、其他季候風土等隨分違つてゐるのである。それ等の國々のものをして、誠に



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

結構なる施設であり、ならはしであるとして、今すぐ吾が國に移して果して適當するのであらうか。私は疑はしく思ふのである。

　美しく紅提灯をつけた様な、英人連の贅をつくしたホンコン港の夜の景色を、私達はたゞ「美しい島よ」などゝ見てゐたら、それこそ見當違ひである。英本國がとこのつた工場を持つてゐたとて「偉い」と驚いて感心する程、決して彼等が人道的でないことを、吾々はあまりによく知つてゐるからである。綠色の香港は美しい。吾々が歩む時それは誠に心地よい。文明の余慶を有難く思ふのである。けれどもあの美しい島に、幾人の支那人の血が流れてゐるかを考へた時、吾々はそこに何物を感得するであらうか。「Gentlman」といふ裏に自分達の生活の爲めならば、「弱い者からどしどし搾りとる」といふ事實を彼等から知らねばならないのだから。そして、それが先進國として文明國として誇つてゐるのだ。

　これは一例として、かゝる事實が彼の先進國をみた時「なし」と云ひ得ることだらうか。

　日本が先進國に學ぶ所ありとしても、それはうかつではならない。そして「人道主義的」などといふ國際的會合の「標語」を、うかつに信じてはならない。常に吾々は、吾々の生活の本旨を、自らあざむく樣な事があつてはならない。

　何が故に、かくもまたゝく間に生活が押しつまつて來たか。そうしてそれが、漸次歐州先進國のそれに似つゝ近づきつゝあるか。而して先進國は、その進路を今後如何なる方面に向けつゝあるか。前途ある吾が日本の國に生れた私達は、そこに着目せねばなるまい。

## 荻原濱子

夏の夜は砂漠に明けて夢遠しわがゆく道のはるかなるかな

はらからとも身をわかちたるひとりとも相たのめとぞ神たまひける

とり〴〵の色うつくしき袖つらね箏樋を出づる十三の子ら

ゆるらかに物語をば說き出でん箏樋に舞へや十三の子ら

（以上二首、箏に對ひて）

天も地もたのもしからぬためしをば命ありてぞ思ひ知りぬる

ふみ反古も作曲の譜も歌くづもたゞ一瞬の灰となりけむ

手ならしゝ物のすべては緣盡きて刹那の風に灰となりゆく

横濱の隈なく燒くを目の下に幾千人がものいはで居り

（以上四首、大震災の折に）



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

# 婦人に好適な職業

## 派出婦の話

古川芳子

派出婦は、未だ新しい職業の一つですが、女中沸底の緩和策として、雇主側からも重寶がられてゐるし、雇はれる方でも、女中になるには自覺があり過ぎるし、さて、適當な職もなし、又、資格や技術をも持つてゐない、といふ人たちは、喜んでこれに投じたがつてゐるやうです。

但し、この職業は、東京とか大阪とか、その他大きい都會地にあるだけで、未だ、地方に在る人たちの職業にはなつてゐません。おひ〳〵各都市、各町位には出來て來るにちがいないと思ひますが。

### 派出婦の仕事

派出婦を雇はうとする家は、主に中産階級、またはそれ以下で、平生、女中を雇つておく程の用事はないが、忙しい時だけ人手を借りたいといふ家、この中にもいろ〳〵の種類があります。保姆、料理婦、給仕婦、病人附添、姙産婦附添、裁縫婦等又、男子ばかりの世帶だとか、普通の氣むづかしい家庭等で、

### 女中沸底の緩和策

女中の沸底は、雇主側を反省させるのに一番でいゝ機會です近頃大分、女中の待遇が問題になつて來たやうですが、果してどの程度まで引上つてゆきますか。要は、女中として働く人たち自身が、これまでのやうな、いはゆる女中扱ひに甘んじなくなるまでに、自覺して來るのでなくてはなりません。

女中が居積かないやうなところでも、派出婦を雇入れます。

大抵の派出婦會では、二週間を一期として、その間泊り込みにて働く事にしてゐますが、雇主の都合、派出婦自身の都合等にて、通勤にしてゐる者もあります。望まれゝば、三週間でも一ヶ月間でも働き、又一週間か四五日で用事が濟む場合もありますから平均、一期十日位にはなります。一期がすめば、その間の派出料金を受取つて、會の事務所へ納める事になつてをります。

派出先きの用事が終つて、引上げたときは、そのまゝ次の派出先へ廻される事もありますが、自分の都合で休養をとる事も自由です。仕事先がない場合には、無論、申込が有るまで自宅なり、會なりで待つのですが非常に忙しい時機には、派出先ばかり多くて、これに出向く人が足りない事もあり、割合に閑暇な折もあります。本人が派出先きを選ばないで、どこへでもゆくなら、月の内二十四五日は働き先きがあると見ていゝでせう。又、派出先きでその働きが認められて、信用が出來れば、指名をされて、あとから／＼と仕事さきが申込んで來てまつてゐるといふ風な人もあります。

## 收入はいくら

東京聯合派出婦會の協定料金を左にかゝげます。

| | | |
|---|---|---|
| 保姆 | 食事附一日 | 一圓五十錢ヨリ二圓迄 |
| 家事取締 | 同 | 一圓五十錢ヨリ二圓迄 |
| 料理婦 | 同 | 一圓五十錢ヨリ二圓迄 |
| 家事婦 | 同 | 一圓五十錢ヨリ二圓迄 |
| （家事一切の用事をする） | | |
| 給仕婦 | 同 | 三圓ヨリ五圓迄 |
| （衣裳に依りて相違がある） | | |
| 病人附添 | 同 | 一圓三十錢ヨリ一圓八十錢迄 |
| 産婦附添 | 同 | 一圓三十錢ヨリ一圓五十錢迄 |
| 裁縫婦 | 同 | 一圓三十錢ヨリ一圓五十錢迄 |

派出婦は、この料金の内一割五分を會に納めて、あとの分を收得するので、もし一ヶ月の内二十五日働くとすれば、普通三十圓内外の收入があるわけであります。仕事のない間を、會の



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

寄宿舍で休養するとすれば、一ヶ月分一圓の舍費と、一食二十錢位の割合で食費を納めます。この休養日を、讀書、洗濯、買物、遊覽等にあてるのが派出婦の普通です。

### 中年の女に適した仕事

この仕事は、未だ年若い人たちには、おすゝめする程いゝ仕事ではないと思ふ――方々の家庭を歩くわけになるから、世の中を知りすぎて、所謂擦れる恐れがあります。夫に別れた女、子供を抱えて困つてゐる女（子供をどこかへ託けなければならぬが）等には、比較的割のいゝ仕事でありませう。

然し、雇ひ入れる方では、使ひ易いからと云ふので、若い方を喜ぶ傾向があります。

誘惑が多いと云ふ點からも考へなくてはなりません。如何はしい派出婦會が、故意に墮落させるやうな機會を與へる事も多いが、派出婦の性質を誤解した雇主が、これを誘惑する場合も多いから、派出婦は、如何なる誘惑に會つても、嚴然と、自分を固持するだけのしつかりした所を有つてゐなくてはなりません。要は、確實で、信用の出來る派出婦會を選んで入會する事と、意志をしつかり持つことであります。

前號に紹介した印刷工にしろ、本號の派出婦にしろ、決して非常にいゝ婦人の職業ではない事は云ふまでもない。然し今の世の中では、學歴を欲しくとも、貧しければ、學校にゆく事も出來ず、儲かることが分つてゐても、資本がなければ商賣も出來ない鹽梅であるから、成たけ學歴も少く、資本のない女にでもなれさうな職業をえらんで紹介する方針をとつて來た。たつた二回で打切りにするのは殘念であるが、來年號よりは、雜誌の內容の上にも、大分新しい抱負が多いので、あとは又、折を見て紹介することにする。

### 婦人職業相談

從前通り婦人の職業に就いての御相談に應じます。必ず三錢切手封入にて申込んで下さい。

（擔當者　梅山一郎氏）



# 三ちゃん

奥村仁

三ちやんの家のサンが仔を生むだ。其の時三ちやんは大勢の大供や小供の中に混つて、キヨロキヨロとヤンマ取りに夢中になつてゐた。

薔薇色の空の下にひつそりと落付いた松原の蔭や、ゆらりと藍の色をたゝへてゐる海の涯の方から、ヤンマ達が三々五々と其の薔薇色の空へ散步に出て來る。それらのヤンマを取らうとして磧に集つて來る子供達は、長い髮の毛の兩端に、石粒を紙に括つて結びつけたものを持つて、頸の痛くなるのも知らずに、空に吸ひ付けられてゐるのだ。

小さい三ちやんはまだ一疋も取れないので、うすく紫がかつて來た空の涯の方を見ては、頻りと焦つてゐた。早く風呂には入つて御飯になさいと、呼びに來た姉のお桂ちやんは、

『三ちやん、いつまでやつてるのさあ。三ちやんてば。』と泣き出しさうな聲で叫び乍ら、追馳けまわさなければならなかつた。

『いゝやい、風呂なんか。は入らないから。』三ちやんはおこつて見向ふともしない。風呂なんかは入つてゐられるかいと、三ちやんは思ふ。風呂になんかは入つてゐたら、其の間に空が眞暗くなつて了つて、さうなるともう一疋もヤンマが來なくなる。いつもかういふ大切な頃ほいになると、風呂だの御飯だのといつて呼びに來られるので、三ちやんは不平でならないのだ。

『だつて三ちやん、サンが仔を生んだのよ。見なくつてもいゝの?』手古摺つた上句にお桂ちやんは元氣づいて叫び出した。『早く歸らないと、お父さん流しに持つてつちやうわよ。』

三ちやんは初めて立止つた。

『噓だい。』

『噓なら噓でいゝわ。ぢあやいゝのね、持つてつちやつても。』

それは本當だつた。幾度も念を押してお桂ちやんを脅かし乍ら、家に歸つて見たら、サンは裏の椽の下で、藁の寢床の中に丸つこいのを四つ生んで舐めまわしてゐた。

サンの寢床の傍へ飛んで行つた三ちやんは、サンの乳首に固く吸付いてゐるむく〳〵と柔い奴を、一つ一つ摑み出しては、眼を細くして堪らなさゝうに笑ひ乍らとみかうみしてゐる。サンは初め自分の寢床から一つ一つ摑み出される度に、圓い眼を疑深く光らせて三ちやんの手元をうかゞつてゐたが、聽て安心したらしく又首をまげて、殘された仔犬達を鼻先でコロコロ引繰返しては舐めた。子供達はしつかりと乳首に吸付いて離れなかつた。

三ちやんは終に一人で見てゐるのでは物足りなくなつて、兩手に一つ宛抱えて表の方へ出て行つた

サンはそれを見ると急いで立上つて、監視する樣に、幼い主人の顏を仰ぎ乍らついて來た。三ちやんの手の中で二匹がクゥクゥ鳴くと、サンは氣が氣でない樣に、三ちやんの足元をまわり乍ら見上げた

三ちやんは暫く往來に彳むでゐたが、相憎誰も來ないので失望して、軒下に這はせて一人で遊びはじめた。二匹共親を求めて鳴くので、氣になつてならないのだが、何より三ちやんは、誰か見つけて飛んで來て、一緒に喜んで欲しいが一杯なのだ。

そこへ恰度よく豊が通り掛つた。

『三ちやん、サンが生むだのかい。』

『あゝサンが生んだんだ。』三ちやんは得意だつた。『四つ生んだんだよ、見せてやろうか。』そこで二人は一匹づゝ抱いて裏へ行つた。

サンは豊を見ると寢床の中から首を擡げて、うゝゝと眼を光らせて唸つた。豊は驚いて立止つた。

『馬鹿。』と三ちやんが叱ると、サンは不服さうにそれでもおづ〳〵して默つたが、豊が手を出して子を取らうとすると、急に又上眼をして唸り出した。豊は兩手を脇の下から懷へ入れて了つて、もう出さうとしなかつた。三ちやんはそれを見ると、サンを追出しておいて、椽下の寢床を引出して、えつちらおつちらと一人で大銀杏の根元に持出した。豊はサンに遠慮して、手傳い度いのを我慢して見てゐた。

四つの仔犬達は急に親がゐなくなつたので、兄弟の頭の上へ這上つたり、鼻先で轉がし合つたり、藁の中で頻りと動きまわつた。そしてサンがは入つて行くと、眼の見えない彼等は、鼻を突出して禁



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

太のお祖父さんの樣に、バネみたいに變に首を振り乍ら、サンの腹やお尻の邊を騷ぎまわつた。

『やあ、あんな所吸つてやがら。』豐が頓狂な聲を出して叫んだ。見ると、一匹の奴が、サンの股の間に首を突込むで、一生懸命ちゆう〳〵やつてゐた。

『三ちやん御飯。あらそんな所へ持出しちや駄目よ。もう夜だから風邪を引いちやうわよ。』お桂ちやんが出て來ていつた。

『早く椽の下に入れとかないと駄目よ、豐ももうお家にかへつて御飯になさいね。』

豐は、間がわるさうに默つて立上つた。家のものは皆三ちやんが豐と遊ぶと叱るので、豐を家につれて來た事はこれまで一度もなかつた。豐のお父さんはもとお巡さんで、三ちやんの村に來てから家の中に住んで百姓をやつてゐるのだといふ事だつた。それで皆三ちやんの友達は豐を輕蔑した。けれども喧嘩をすると誰も豐にかなわないので、豐の前では其麽事をいふものはなかつた。それに豐は學校では一番繪がうまかつたし、三ちやんを虐める者があると、豐はいつも三ちやんをかばつて虐めさせなかつた。二人は仲よしだつた。それだのに豐は決して三ちやんの家へは遊びに來なかつた。

『御飯なんかいゝや、豐もつと遊ばうよ。』

『早く御飯にしないとお父さんにいひつける事よ。』

『いゝつけたつて何だい、何だい。』

『また今度遊びなさいね、もう夜だから。』お桂ちやんは豐にいつて聞かせた。豐は默つて肯頭いて見せて、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

『又こんど遊ばうよ。』と三ちやんの方へいつた。そして歸つて行つた。三ちやんは默つて姉を睨めてゐた。そして、

『馬鹿。』といひ捨てゝ、ぷいと何處かへ行つて了つた。

翌日三ちやんは誰よりも早く起きた。そして急いで學校に行つた。早くお友達にサンが子を生んだ事を吹聽したかつたのだ。

學校に居る間中、三ちやんは犬の事ばかり考へて、先生の話など聽いてゐなかつた。敎室には入ると、直ぐ隣の清ちやんを捕へて、眼をまるくして話し始めた。初め小さな聲で話してゐたが、だんだん聲が大きくなつていつた。清ちやんは、三ちやんの聲が戶外にゐる時の樣に大きくなつて來たので、吃驚して、當惑さうに笑ひ乍ら俯向いて了つた。

三ちやんはそんな事は些とも氣が付かなかつた。暫くして妙にひつそりとなつたので、ふと話を止めて顏を上げた。すると、大勢の顏が皆變に笑ひ乍ら、自分を見守つてゐた。急に二三人聲を立てゝ笑ひ出した。先生もお話を止めてニコニコし乍ら、三ちやんを見てゐた。

三ちやんは赫くなつて俯向いた。非度く辱かしめられた樣な氣がして、敎壇から見降して笑つてゐた先生がむしやうに憎くかつた。

三ちやんは併し、それも直きに忘れて了つて、歸る時には朝と同じ樣に、仲善しの淸ちやんをつれて家へ飛んで歸つた。

家ではお父さんがサンの寢床の傍に蹲むで、大きな掌へ一つ一つ仔犬を載せては、ていねいにしらべてゐた。

暫くするとお父さんは、眞黑い奴を一匹載せて長い間見てゐてから、

『これを殘さうかね。』といつた。

お父さんがさういつて三ちやんを見た時、三ちやんは悉皆忘れてゐた、悲しい事に氣がついた。

『淸公と二人で行つて、あとの奴を流しておいで。』お父さんは當り前の事の樣にいつた。笑ひ乍ら。

サンが子を生むといつでもお父さんは、一つか二つ殘して、あとの奴を大川へ流して了ふのだ。

去年も三ちやんは、桂ちやんと二人で流しにやらされた。其の時の事は、今でも三ちやんの眼の中に浮んで見える。

大川の橋の上から一つづつ落してやると、腹をうねらして小さな手足を悶掻き乍ら、青い水の底の方へづん〳〵沈んで行く、そして又浮き上つて來て、それから遠くへ〳〵と流されて、なめらかに光る川の面で小さく悶掻き乍ら、だん〳〵見えなくなつて了ふ。そしてとう〳〵一人一人別々に死んで了ふのだ。

三ちやんは悶掻いて流されて行くのを見るのが、可哀さうでならない。いつも泣きさうになり乍ら歸つて來るのだ。

『一つッきやおいとかないの？』三ちやんは唇を突出して、眉尻を下げて不平さうにお父さんを見上げた。『三ちやんいやだ。流しに行くの。』

お父さんは默つて黑い奴を撫ぜては、いつまでも眺めてゐた。
『どして？　おもしろいよ。ゆかうよ。』清ちやんはいつた。
『僕んとこのミルもぢき生むんだよ。僕いつも流しに行くの。面白いよ。僕んとこのミルね、流しに行くとついて來るんだよ。可哀さうだと思ふんだね。』
三ちやんは考へ込むで默つてゐた。
『僕んとこのミルももう生んだかも知れないよ。もうぢきに生むんだつて、お父さんはいつたから、僕見て來やう。』
三ちやんはこれからお父さんが流しに行けといつても、行くまいと思つた。桂ちやんにも行かない樣にいつてやらうと思つた。そして三ちやんは、お父さんから又流しに行つて來いといはれさうなので清ちやんについて出て行つた。
ミルはまだ仔を生んでゐなかつた。清ちやんの家の玄關の所に長く寢そべつてゐて、二人が行くと物倦さうに尻尾を振つて見せた。大きなお腹をしてゐた。
『今夜生むんだよ、屹度。』といつて清ちやんは、ミルの大きなお腹を撫ぜてやつた。三ちやんは默つて見てゐたが、ふと、
『一つ生めよ、一つ生めよ。』といつて、手を出してミルの腹を撫ぜた。



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

## ▲編輯室より▼

あわたゞしい年の暮を迎へて、恒例とは云ひ乍ら、また一と苦勞、忙しい荷物を脊負つたやうな氣がするではありませんか。然し、希望ある大正十四年を迎へるためのその苦勞だと思へば、荷物もまた、脊負うて大いに張合りがあると云ふものではありませんか。

○

おともう一息だ、かう思ふ心が、これまでどんなに私たちを力づけて來てくれたか解りません。私たちがかうして、微力ながらも雜誌を出したり、研究會をしたり、講演に出たりしてゐて、婦人界に於けるその反響が、非常に身近く迫つて來た！餘程、婦人の生活が革まらうとして動いて來た、ことをしみ〴〵と感じてどちらを向いて感謝していゝのか解らぬ喜びに一杯になるのであります。

今年は非常に苦しかつた一年でありました。震災當時にうけた打撃は未だ中々に深かつたし、仕事の方の基礎も、確立しかれてゐた中でもあつたので、何事も思ふに任せぬ事が多くて苦しみ勝ちでした。然し、同じ苦勞でも、實にし甲斐のある苦勞であつたと云はればなりません。

どうもありがたうございました。

みなさんのお力添のおかげで、こゝまで働きついて來ました。社會も餘程動いて來てをります。こゝで私たち婦人が、一奮發しなくてどうしませう。

そこで、「婦人と勞働」を、育てゝ來て下さつたみなさんに、一瞬も早くお傳へしたい吉報があります。「婦人と勞働」が、來春一月號から、わが職業婦人社と、東京聯合婦人會勞働部と合同したところの一層大きな基礎の上に發行せられる事に決定した、この事であります。雜誌は從前通り『婦人と勞働』と稱して、私（奥）が主として編輯にあたること、定價は値下げをしたまゝの一部金貳拾錢を踏襲して、毎月六十頁内外に擴大すること、編輯に就いては、これまでよりもつと澤山の同志がいろ〳〵新しい方針や希望を持出し合つて、一層この雜誌のもつ主張を徹底させ、又、内容を豐富にと計畫中であります。

○

**勞働部とは**、昨年の震災後東京市内外の全婦人團體が聯合して東京聯合婦人會を組織した者の内の有志が、勞働婦人の研究、娛樂、及び啓蒙運動、等を目的にして作りあげた一つの機關であります。婦人問題、勞働問題に關する講座や勞働婦人の月曜クラブ等を續いて試みて來てゐました。今度雜誌發行を手初めに、一層積極的に活動することにしたのです。

勞働部では、過ぐる一ヶ年間のはたらきを「跡」（代拾錢）と題する小册子に集めて發行してゐます。その目次は、

## 東京大久保百人町 聯合婦人會勞働部

田上靜子

悉しい事は、「跡」に就いてみて下さい

○

全てどんな運動でも、群小が割據してゐたんぢやついにものになりつこがありません。成たけ力を一に纏めて、究極の目的を突くことを忘てはいけません。婦人運動の如き、未だ／＼その初期にある仕事は、一層みんなで小異を捨てゝ大同に就いてゆくべきであると私は考へるのです。私の六七年來の經驗がさう敎へるばかりでなく、現在の婦人界の實情はたとえ半分の力、四半分の力でも、おろそかに投つてはならぬと私に敎へます。

勞働部から、「お互ひに力を持出し合つて一つ「婦人と勞働」をもつと立派なものに育上げやうぢやないか」といふ相談を持かけられた時、私が喜んでこれに應じたのはこの心からであります。

○

創刊後一年有半の今日、基礎は漸く固くなりました。この仕事に共鳴して、北から南から、東西からと、熱心に後援して下さつてゐた方々よ、これから、この礎を土臺にして、大いに積極的に、全國的に婦人界につぶてを投げやうではありませんか、どうぞ、今までよりももつと力をかして下さい。どんな運動だつて、三千五百萬の全ての婦人が、打つて一丸となつた力で進むのでなくては駄目です。

自重して進みませう。

○

最後に、創刊以來編輯主任として、無理に無理を重ねて働いて來られた矢部初子氏が、暫く「婦人と勞働」と別れて、その研究室にとぢこもる事になりました。

私たちは氏が再び街頭に出て鬪ふ日が近い內にきつとある事を信じて疑はない者であります。

矢部氏を初め、大山氏、石山氏田中氏渡邊氏堀內氏等熱心にお手傳下さつた方々にも、篤くお禮を申上げます。


定價

| | | |
|---|---|---|
| 一部 | 金二十錢 | 郵稅一錢 |
| 半ケ年 | 金一圓二十錢 | 不要 |
| 一ケ年 | 金二圓四十錢 | 不要 |

廣告料

| | | |
|---|---|---|
| 特等 | 一頁 | 四十圓 |
| 一等 | 一頁 | 三十圓 |
| 二等 | 半頁 | 二十圓 |

二回以上割引あり

御注文は總て前金で願ひます。
御送金は振替に御拂込み下さい
郵券代用の際は一割增の事（一錢又は三錢切手にて）
誌代の領收書は別に差上げません
雜誌發送を以つてこれにかへます。

大正十三年十一月三十日印刷納本 第二卷
大正十三年十二月一日發行 第八號

編輯發行人 印刷人 東京市外巢鴨町一〇一九 奥むめお
印刷所 東京市外下澁谷五三三 株式會社弘榮社
發行所 東京市外巢鴨町一〇一九 「婦人と勞働」職業婦人社
振替東京六四一六〇

# 早稲田大學

## 高等女學講義

早稲田高等女學講義は、短日月の間に文部省令による高等女學校の全科を修學せしめるために編纂されたもので、その效果の確實なことは、謂ゆる專檢試驗に合格した方がこの講義錄の讀修生から既に多數出て居ることによつても立派に證明せられます。一度專檢試驗に合格すれば、女子高等師範學校、女子大學、女子醫學專門學校などへの受驗資格も完全に與へられ、進んでは中等教員の試驗にも應ずることが出來ます。進んでこの文化的な教育機關を御利用下さい。

## 文學講義

新時代は近づきました。愈々婦人の活動すべき時代がまゐりました。この時に當つて一般婦人が第一に用意すべきことは、言ふ迄もなくその特質として備つてゐる愛を、感情を傷けずに、之を擁護し、發達させつゝ廣く、深く新知識を獲得することでなければなりません。本講義はこの要求に應ずる爲め、一般婦人が人として女として眞に必要なる根本的知識を授けると共に、その感情を培ふための文藝を如何にして味ふべきかを教へることに努めてをります。

政治經濟科　法律科　中學科　商業科

◇各科とも新學年開始＝内容見本申込次第送呈◇

東京牛込早稲田

早稲田大學出版部

電話牛込 三四五番 三四六番 三七四八番 三七四九番




Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

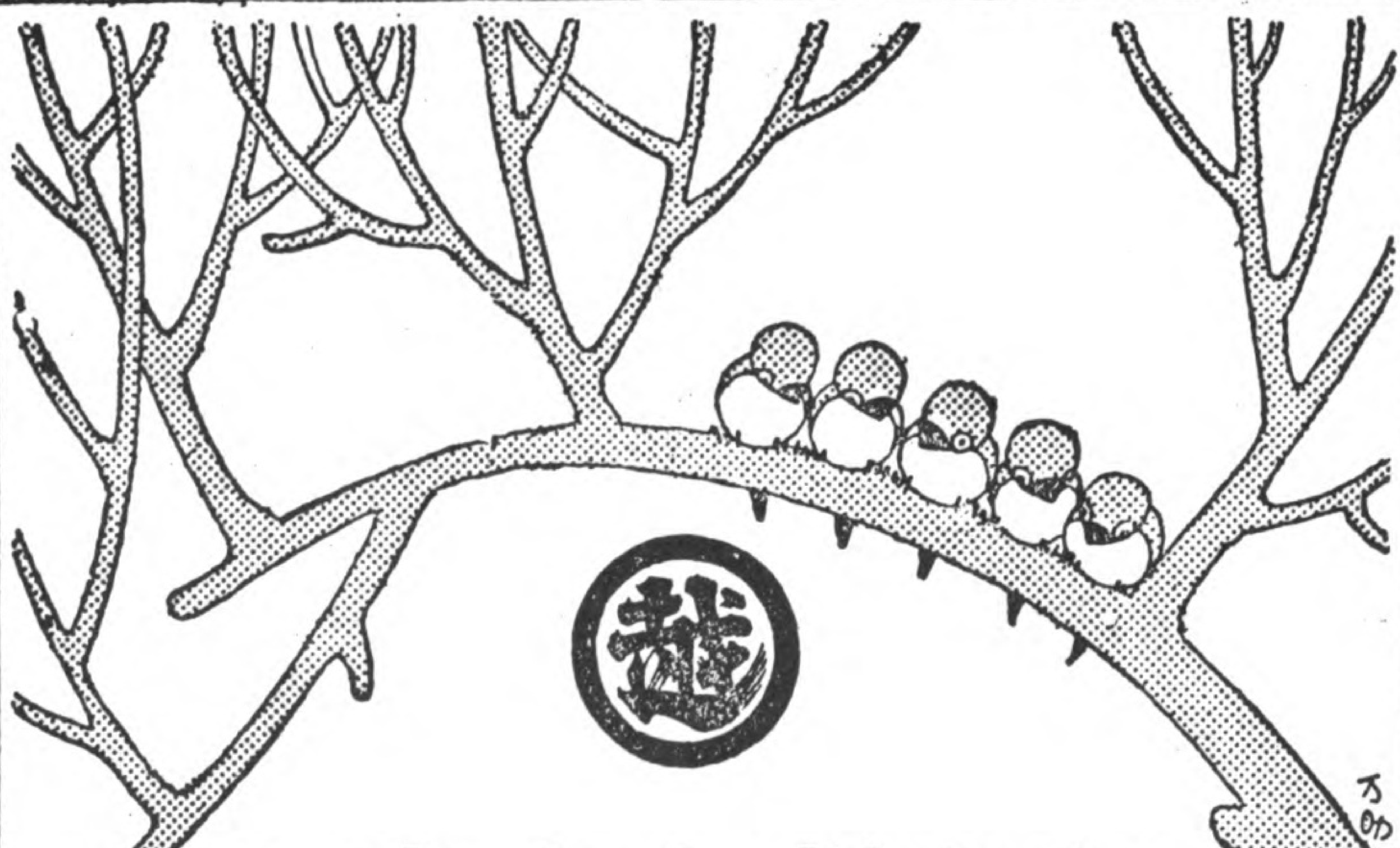
大正十三年十一月二十二日第三種郵便物認可
大正十三年十一月二十九日印刷納本
大正十三年十二月一日發行

婦人と勞働

第二卷
第八號

定價金貳拾錢

職業婦人社發行



·御歳暮大賣出し·

御歳暮の御贈答品は、何方様にも喜ばれる三越の品を御用ひ遊ばすに限ります。三越では、御選擇の御便宜の爲め、「御歳暮御贈答品賣出し」を開催致し、季節用品や家庭用品を豐富に取揃へます。御用命を願上ます

商品券は、現金同様、御望の品は、何とでも御引換が出來ますから、贈るに便利、受けて重寶で御座います

◆新製羽子板陳列……（一日より卅一日まで）
◆よせぎれ見切反物賣出し……（一日より十五日まで）
◆東西大家新作畫展覽會……（二日より六日まで）
畫林社主催
◆三越歳の市……（十一日より卅一日まで）
◆新年用品陳列會……（十七日より卅一日まで）

東京市
三越呉服店
駿河町

復刻版 婦人運動 第1回配本（第1巻～第5巻）
〈原題『婦人と労働』〉
1990年6月25日 発行
本体揃価格 50、000円

発行者 船橋 治
発行所 不二出版㈱
東京都文京区向丘1-2-12
〒113 ☎03(812)4433
印刷所 三進社
製本所 吉田製本工房
中性紙使用
乱丁・落丁はお取り替えいたします。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN